

三重県人会55周年に向けて

教育は機会均等であるべき



教育について熱く語る山本代表＝東京都世田谷区成城のeisugroup経営企画本部で

eisugroup 山本千秋代表



東京から三重へ送る

県内を中心に進学塾、大は導く、進路指導を担う進学予備校の運営などを行ってきた。それで私は決断し、eisugroupから、次の世代に引き継ぐ。同社は、山本代表が昭和四十一年に一人立ち上げた鈴鹿英学院が前身。少子化が進む中で、今では東海、首都圏へと拡大を遂げ、有力企業に成長を遂げている。

絶えず変化続ける 日本一、質の高い塾に

日本一、質の高い塾に



ふるさと三重の思い出を語る山本代表＝東京都世田谷区成城のeisugroup経営企画本部で

＜略歴＞
山本 千秋（やまもと ちあき）1941年8月25日生まれ、鈴鹿市出身。早稲田大教育学部英語英文科卒業、約1年間の商社勤務を経て65年鈴鹿英学院設立。84年株式会社化し代表取締役就任、その後いすゞ総研、えいすうメディア、エイズを設立し、代表取締役就任。97年より首都圏に進出。本年度から在宅で学べる「eドリル」を全国展開し、現在に至る。

重たいのですが、二百ほどになる。もう東京に戻りたくありません。東京は情報が多く刺激があり、それが仕事にもつながっていると思っています。

「若くして起業し、苦労 四年には法人化し、津日本 されたことも多かったの 社も構えました。 確かに四十四年間の歴史 はないですか。 山本 当初、小学生から の中で、苦しいことも 社会人まで三十六人集まり さもありましたよ。しか 返済は無理です、私の目 ても、信念を貫けば絶対 標は百人でしたが、ちっほ ます。その後、やるとな けな塾によく来てくれた。 内心苦しくても変わ ます。その後、やるとな 三年後くらいに、大卒の正 ました。すべては、毎か 社員を三人雇いました。私 ら生まれます。思い切り 一人だけだったら危なか したみたい、学習向上支 しか、彼らが来てくれた したみたい、学習向上支 におかげで、腰を据えてや 者に感動を与えたといっ 気持でやっています。た 方もいます。一方で、裕 あります。

「現状に甘んじず、常に 変化を続けることが重要」と 説く山本代表に、これまで の軌跡や三重に対する思 いなどを聞いた。

「eisugroupを立ち上げる きっかけを教えてください。 山本 大学を卒業して商 社勤務しました。大阪に 配属されたのですが、自分 は勝手で、こういう組織 鉄平田駅で徹底的に場所を

「現在、東京に住んでお られますが、三重を離れた 訳をお聞かせください。 山本 九七年に居住を鈴 鹿から東京へ移しました。 年齢に関係なく、刺激と興 奮の雰囲気、ベンチャー 型トップの私の血が騒ぐの ですよ。まごみろの文化とい うのでしょ、確かに三

「ふるさと三重の人々に エールをお願いします。 山本 いま地方はどちも 疲弊しています。四日市や 津なども、十数年前までは もっと活気があったように 思いますが、いまはシャッ ター街になっっているのが残 念です。 人生は一回きりですか ら、志を持ってチャレンジ することが大切。小さくま とまるといい、ハンチャー スピリットで挑戦してほし い。私がそうだったよう に、起業も含め、三重にチ ャンスは限りなくあると思 っています。」